

仙台市議会議員(若林区) 菊地たかよし 市政活動報告

はじめに

東日本大震災から6年となりました。29年3月時点における震災復興計画関連事業は予算ベースで約86%の進捗となりましたが、なお暮らしや経済の再建、安全確保のための着実な取り組みが求められています。29年度の当初予算審査を含む第一回定例会では、施政方針の3つの柱を『都市個性を生かした交流都市づくり』『地域から発想する仙台型まちづくり』『防災と環境を基軸とした未来を創るまちづくり』とした1兆1,109億円(復旧・復興事業費は302億円)の全体予算編成案を議決しました。若林区では「区の魅力発信」「六郷東部地区現地再建まちづくり」「区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わいの創出」事業などを予定します。地域・行政・議会などが知恵と力を結集し、心豊かな社会を形成できるよう努めて参りたいと思います。



子ども子育て環境の工夫と充実を、仙台から!

子ども医療費助成制度の拡充が決定

少子高齢化の問題が指摘される中、子育て環境の充実が喫緊の課題です。仙台市議会では、平成27年度、宮城県に対し、子ども医療費助成制度の充実強化の意見書を提出し、平成28年5月、会派・自由民主党をはじめとする4会派での市長への要望、さらに6月定例会での我が会派による代表質疑を受け、平成29年10月から仙台市独自の拡充を行うことが決定しました。

現 行		拡充後(平成29年10月以降)	
対象年齢	利用者一部負担金	対象年齢	利用者一部負担金
0歳~2歳まで	無 料	0歳~未就学児まで (6歳到達年度末まで)	無 料
3歳~小学3年生 (9歳到達年度末まで)	初診時 500円 再診時 無 料	小学1年生~中学3年生 (満15歳になる日以後の、 最初の3月31日まで)まで	初診時 500円 再診時 無 料

* 市の制度における所得制限は、現行と同じ532万円/年。(扶養親族等が0人の場合。一人増えるごとに38万円が加算されます)

* 入院での助成：現行どおり。対象年齢は0歳~中学3年生まで。利用者一部負担金は、小学生以上一人あたり500円。(11日目からは無料)

市立小中学校のさらなる教育環境整備へ向け、始動中



▲今年度で閉校となる東六郷小学校

中学校の「いじめ対策専任教諭」に加え、小学校への「いじめ対策支援員(元警察官や元教員など)」の配置、いじめ・不登校・発達障害等に対応する「児童支援教諭の増員」のほか、外部の有識者等からなる「不登校対策検討委員会」の設置など、学校の各課題への多角・多層的な取り組みや、政令市への教育に関する権限の移譲や学習指導要領の改訂などを、検証しつつ進めます。

- ◆平成29年4月 東六郷小学校が長い歴史に幕を閉じ、六郷小学校に統廃合
学校跡地はコミュニティ形成や健康増進の場として活用できるよう、地域での協議を推進
- ◆平成32年4月 「(仮称)七郷第二小学校」開校予定
七郷小の過大規模の早急な解消を訴え、早期の建設計画が実現。蒲町・七郷・七郷第二各小学校がそれぞれ600~700人程度の規模となるよう、学区の再編成と予算措置を引き続き実施
- ◆平成33年4月 老朽化した大和小学校の校舎・体育館・プールの新設が完了
平成29年度から予算化、地域防災の安全性も向上

復興の原動力として、地下鉄沿線開発の分析と整備を推進



▲ 焼失前の仙名城大手門
(写真：仙台市博物館蔵)



仙名城大手門の復元を核とした、各城址・城郭、神社仏閣、四ツ谷用水、貞山運河などの文化観光資源となる歴史的風致のゾーン形成による整備を、国交・農水・文科省による「歴史まちづくり法」や、「国家戦略特区」の活用によって実現すべきと訴えています。

八木山動物公園

国際センター

川内

青葉山

仙台

宮城野通

連坊

薬師堂

六丁の目

荒井

深沼海岸

● 旧仙台市立病院跡地に、学校法人東北学院「学都仙台的連携・交流シンボル“五橋アーバンキャンパス”」の整備が決定！

▼ 多くの学生が集う大学施設としての機能に加え、地域との連携等、本市の新たな交流拠点となる“市民が開かれたキャンパス”が、平成35年4月に開校の見込みです。



<事業概要>

公開講座の開催など市民が学ぶ機会の創出、市民が利用できるレストランや多目的ホールの整備、周辺町内会のサロン活動への支援や地域課題の解決に向けた連携拠点 など

仙台市が助成したJR仙台駅東西通路や、仙台市立病院跡地に建設が決定した東北学院大学校舎等の「ひとの流れ」を滞りなく、文化・観光コースやまちづくりについて、地域・商店会・学校・各団体等と知恵を絞り、市民協働と新たな各活性化事業で推進します。

実質年約30億円の赤字となっている仙台市営バスの経営改善を進めつつ、これを補完する交通手段について、他都市の例も参考にした新たなモデル構築を、区の自民党議員で調査・研究しています。



● 平成24年策定の史跡「陸奥国分寺跡・国分尼寺跡整備基本計画」に基づき、史跡公園として緑地・多目的広場やガイダンス施設を整備する他、更なる魅力化を図ります。



◀ 建設中の歴史ガイダンス施設。展示スペースの他、学術・体験コーナーやボランティア控室も設けられます。

奈良・平安からの遺跡や藩政時代の面影を残す町並みなど、歴史的・文化的な資源を発掘し、地域の魅力や観光交流人口の増進を図ります。



▲ 今年生誕450年となる伊達正宗公の隠居後の居城となった若林城の城門(在・連坊)



● 最大1,500人収容のライブホール
「アライライブホール(仮称)」が今年5月3日にオープン！
◀ 音楽コンサートや演劇、ファッションショー、展示会など多目的に利用できるホールや、手作り市やフリーマーケット会場に提供するスペースを設け、催しのない日には地域に安価で解放します。複数の飲食店も備えます。

● 全国初の民間委託による、都市公園集約型の大規模多目的公園「荒井東1号公園(仮称)」の整備計画が進行中！

▶ 地域からの要望に沿った、東部地区の新しい玄関口にふさわしい魅力ある公園の設備・運営を、全国初となる都市再生特別措置法の枠組みに基づく民間委託で開始しています。フットサルやテニスなどに利用できる運動広場や、イベント開催等に活用できる芝生広場、荒井駅前広場から公園までが一体となった地域交流の場となるエントランス広場など、イベント・スポーツ交流による東部地区のにぎわいを、地域・民間・市の協働によって牽引します。



◀ 風雪時、バス待ちが厳しいとご指摘があった地下鉄東西線の八木山・薬師堂・荒井の各ターミナル駅に、構内での待合に便利なバス時刻表示器と、ベンチを設置してもらいました！



▼ また、仙台駅の東側に設置が少なかった、観光・ビジネスに便利な「仙台・タテバイク(有料貸出自転車)」が、薬師堂駅、若林区役所、陸上競技場にも常備されましたので、是非ご利用ください。



▲ 旧荒井小学校校舎

● 旧荒井小、震災遺構として4月末から一般公開
津波の脅威や地域の歴史、小学校の思い出等を振り返る資料なども展示。荒井小を經由し荒井駅と深沼海岸前を結ぶバス路線が、平日往復33便運行されることが決定しました。

● 沿岸部の海浜公園等を、順次整備・再開
3月には震災の記憶を継承する藤塚と荒井の追悼モニュメントが設置されました。また、津波で被災した蒲生地区のテニスコート、荒井地区の運動広場などは4月、蒲生の野球場と荒井のパークゴルフ場は、7月から全面再開となります。

『地方創生』へ、意欲的な努力と創意工夫を！

国家戦略特区の効果的運用と拡張のために

国家戦略特区は、特定地区限定の規制緩和等を通じて民間力を引き出し経済活動をより活性化させるため、「日本再興戦略 - JAPAN is BACK -」の具体施策のひとつとして平成25年に創設された、規制改革制度です(現在、全国で10ヶ所の地域が指定)。

仙台市は私の議会質問と提言を受けて検討・申請し、平成27年8月、国から『地方創生特区』の指定を受けました。その後復興と地方創生のけん引役となるべく順次適用範囲を拡げており、今後の効果が期待されます。28年9月の決算等審査特別委員会では、広域連携を助長し足腰の強い地方圏をつくるため、地方にとってより使い勝手が良い、国の連携中枢都市圏構想にも沿った効果的な特区制度へ向けた改定を進めるよう、研究を求めているところです。



▲ 先進技術の象徴とも言える、無人航空機「ドローン」。災害救助等、数多くの分野、様々な場面での活躍が、今後期待されます。

『仙台港・仙台空港等利用促進議員連盟』が発足、ゲートウェイの活用拡大へ



平成28年、『仙台港・仙台空港等利用促進議員連盟』が会派を超え発足しました。仙台空港の完全民営化、仙台塩釜港の新たな国際コンテナ便就航、定期便数増加など、仙台市の空と海の玄関口を取り巻く環境は今まさに大きく変わりつつあります。仙台空港のインバウンドの増加、仙台港の国内フィーダーの更なる充実、北米航路最短の利点を生かした取扱量の増加等に加え、南海トラフ地震等、国家的な災害発生時における防災物流拠点としての機能も併せ持たせるなど、「グローバル・ゲートウェイ」としての地位の確立を期し、豊かな観光・経済交流を通じて仙台と東北全体の振興をはかるため、議員一同力を尽くして参ります。

仙台特区

現時点で仙台市が認定されている特区メニュー

起業支援

NPO法人の設立手続き期間の短縮(2ヶ月→2週間)
雇用労働相談センターの設置(仙台市情報・産業プラザ/仙台駅前AER七階)
創業の各種手続き窓口一本化

女性活躍

都市公園内への保育所設置の解禁による待機児童対策拡充(ex. 中山とびのこ公園)
地域限定保育士試験

医療技術改革

日本では未承認の医薬品・技術などの先進医療の特例提供
東北大学病院での新医療機器開発期間の短縮 など

近未来技術実証

電気自動車、ドローンなど各種の先進技術プロジェクトの支援(荒井海岸)

公共空間利活用による地域のにぎわい創出

公道等でのイベント開催やオープンカフェの設置(中心部商店街、泉中央駅前広場)

まだまだ、挑戦は続きます！

...NEWS PICK UP...

◆ 市議会インターネット中継がスマホ・タブレットに対応！

かねてから広報委員会等で問題提起していた議会インターネット中継のシステムが改良され、平成28年第2回定例会から、スマートフォンやタブレットでも議会生中継や録画が視聴出来るようになり、アクセス回数も約2倍に増加しています。日頃からモバイルを活用する皆さんも是非市議会の議論の様子を見て、私たちの生活に直結する審議の過程を確認してみてください。

◆ 政務活動費に関する検討について

昨今全国各地において、地方議員の政務活動費の問題が明らかになっています。これを受け仙台市議会では、平成28年12月に政務活動費の使途の透明性向上等を図ることを目的とした『政務活動費に関する検討会議』を設置し、使途や公開方法等について議論を進めています。これらの取り組みのうち、政務活動費の使途の公開に関しては、平成29年度分から開始することが決定しました。今後も、適正な経費の執行の範を示して参ります。



議員提案による「仙台市防災・減災のまち推進条例」が成立

あの日から6年、3・11施行

激甚・多様化する災害からひとびとの生命と財産を守るための取り組みは、安全で安心な市民の暮らしの充実を支える、基本的な事項です。

仙台市は昭和53年（1978年）に宮城県沖地震を体験し、翌年、仙台市長による「防災都市宣言」が出されました。そして33年の後、私たちはあの東日本大震災に見舞われ、市民意見と議会議論を踏まえた行政の尽力によって地域防災計画については刷新されたものの、それらを束ねる**防災に関する基本的な理念、市民の災害対応の礎とするべきものがこれまで体系化・明文化されておらず**、40年近くも前につくられた“宣言”によって、当時の思いが表明されたままとなっていました。

東日本大震災で被災した唯一の政令市であり、国連防災世界会議を誘致した仙台市であればこそ、防災に対する物心両面の備えや過去の災害の経験から得た教訓について、市内にとどまらず国内外の現在と未来に発信・継承してい



▲平成28年12月22日に開催された、条例案に関する市民説明会

くことが肝要と考えます。

こうした現状を踏まえ、平成29年第一回定例会において、**防災・減災の意識を醸成するための議員提案条例として「仙台市防災・減災のまち推進条例」が議決成立しました。**

一部の会派を除く複数の賛同会派が一致協力して策定部会を立ち上げ、市民の皆さまのご意見なども取り入れながら条例を制定した、初の事例となりました。

【参考】<http://ameblo.jp/sendai-sakutei/entry-12228411849.html>

議会における主な質疑内容（抜粋）（平成27年第二回定例会～平成29年第一回定例会）

【震災復興関連】 個別事情に配慮した住宅供給、被災者生活再建支援プログラムについて／真に実効性ある避難計画の策定、東部地区道路等整備／防災集団移転跡地の買い取り／【防災・危機管理】 平成27年9月の豪雨災害を踏まえた対処態勢の検証／本市職員の非常配備、災害時航空統制の不備／弾力的な危機管理態勢の構築／宮城野原広域防災拠点の整備は県との積極的な連携を／避難所開設準備基準の見直し／停電時も消えない信号機の設置／【教育関連】 七郷第二小学校新設／震災後の人口変動に合わせた先行的な教育環境整備／教育現場の諸問題（教員配置等）の根幹的解消を／いじめ撲滅、学力向上等を目的とした土曜日授業の早期導入／教科書採択の審査適正性、透明性・公平性の確保を／ユネスコ遺産不正登録への懸念と教育への影響／【都市整備・まちづくり】 市民協働によるまちづくりの推進／雨水・農業用排水等の総合コントロールシステム構築／地域商店街活性化のための諸施策、持続的なソフト・ハードの基盤整備／【経済・観光】 本市観光・地域資源の発掘／東北復興のための音楽ホールの新設、文化拠点の今後の調査／仙台城の復元／国際姉妹友好都市との交流について【仙台市バス・地下鉄東西線関連】 バス路線の現実的な見直し／荒井・薬師堂・八木山駅への待合場所・掲示板の設置／東西線駅へのデータバイク配置／敬老乗車証とバス利用の促進／【福祉・医療】 地域における高度医療機関の配置バランス／市立病院のパンデミック対応／【地方創生】 国家戦略特区と他都市との広域連携による人口減対策 ほか

菊地たかよし プロフィール



昭和43年 仙台市生まれ / 宮城県仙台第一高等学校、東北学院大学(法学部)卒業 / 平成5年 陸上自衛隊入隊 / 東北方面総監部、防衛省陸上幕僚監部等にて18年間勤務し、平成22年 二等陸佐で退官 / 平成23年8月 若林選挙区にて 初当選(現在2期目)

【現在の役職等】

- 健康福祉副委員長 ● 総合交通政策調査特別委員
- 広報副委員長 ● 社会教育委員
- 会派 自由民主党 政調副会長
- 東北連携中核市議会議員24研究会 代表世話人
- 仙台市私立幼稚園PTA連合会 副会長
- 自衛隊出身議員による「みやぎ武の会」幹事長
- 仙台市銃剣道連盟 会長 ● 仙台藩士会 参与
- 自衛官募集相談員 ● 防災士 など

編集・発行 / 菊地たかよし事務所 〒984-0038 仙台市若林区伊在字前通15-2
TEL 022-390-4105 / FAX 022-288-2342 Eメールアドレス: info@kiku-taka.jp

自衛官を募集しています



陸上・海上・航空自衛隊の
様々な募集種目があります！

安定・安心して勤務できるよう
充実した福利厚生・各種手当
を完備しています。

★★★ お気軽にお問い合わせください！★★★

自衛隊宮城地方協力本部 名取地域事務所
(若林区、太白区、名取市、岩沼市担当)

TEL: 022-383-8752

E-mail: natori-miyagi@rct.gsdf.go.jp

※ 自衛官募集は、自治体の法定受託事務です。



http://www.kiku-taka.jp/



http://ameblo.jp/takayoshi-kikuchi/



/takayoshi.kikuchi.5/



/仙台市議会議員 - 菊地崇良事務所
-529870503734171/



@kikuchi6231